資料４

防災分野における
地域と企業の連携の新たなあり方検討会

～　熊本市　事例発表資料　～

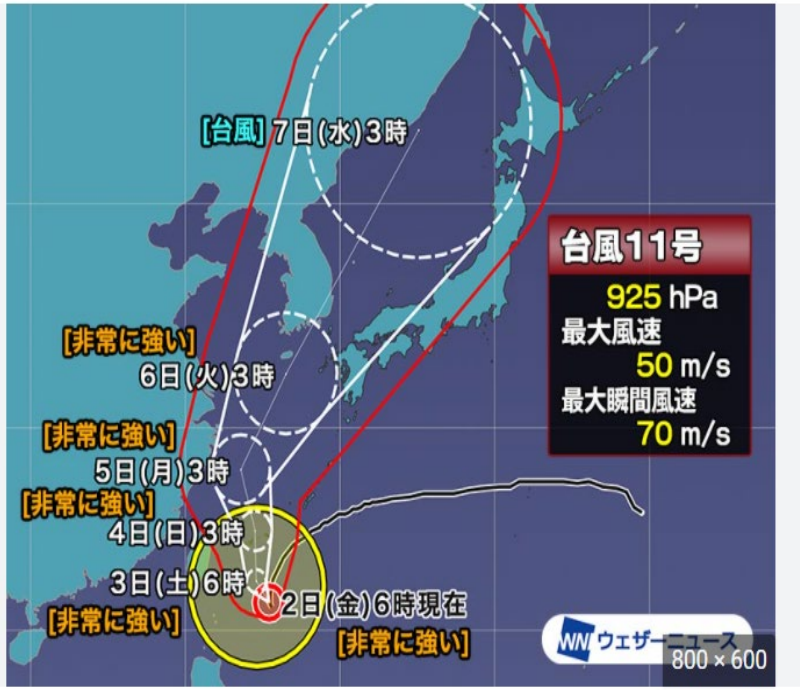
災害対応における企業リソースの活用可能性と平時における取組

(1)企業リソースの活用可能性

事例発表の依頼メモ
- 既存資料を活用して10年前の地震から取り組んできたことを説明いただいた上で、今回の地震で生きたことや生じた課題・教訓について、是非お教えください。
- 資料としては、災害対応もある中なので、前段部分については既存資料等の活用をお願いし、後段部分については、口頭での説明・補足をお願いしております。

①避難場所等の拡充　～ペット同伴避難所～

令和4年9月6日
特別警報級の台風接近





【課題】・市内に規模や設備が整った動物病院は少ない
・一般避難所での専用区画は、臭気や清掃が必要

災害対応における企業リソースの活用可能性と平時における取組

②支援物資等の総合管理

＜支援物資調達＞

（必要物資要望）　（物資発注）　（発送）

各避難所　→　災害対策本部　→　**調達協定企業**　→　物資集積拠点へ

各避難所の物資管理は避難者、行政職員。 災害対策本部は、避難所から要望された物・量を協定企業へ発注。

＜物資集積拠点管理・支援物資配送＞

（配送）

物資集積拠点（管理運営協定企業）　→　各避難所

管理運営協定企業は、拠点の運営管理に加え、避難所から要請された物資を各所へ配送。

【課題】

・在庫調達管理等のノウハウが乏しい行政職員、避難者等による避難所の物資管理。

・災害時は、物資調達企業、物流管理企業がそれぞれの協定に応じた役割を担当。

物資の過剰、不要物発注による余剰物資の発生　→　他都市へ譲渡。最悪、処分へ

災害対応における企業リソースの活用可能性と平時における取組

（2）協定の実効性を高める平時の取り組み

①自治体・企業、双方の災害訓練、研修への参加　～県トラック協会～

〇本市の震災対処訓練（支援物資輸送）への参加・協力
〇協会主催の「災害物流専門家研修」へ自治体職員として参加

（効果）

⇒顔のよく見える関係の構築に加え、災害時における各々の立場の対応の理解促進に繋がる。

②協定に基づく費用負担に関する年度当初の調整　～廃棄物処理事業者～

〇発災前の取り決め

（効果）

⇒災害時の対応遅延の多くは金銭問題。事前の調整で迅速な対応へ、良好な関係構築へ

③平時活動への連携　～キッチンカー協会～

〇平時におけるイベント等での利用

（効果）

⇒フェーズフリーの対応